



炭火アイロン



ずいはんき  
電気炊飯器



かま

企画展

# 探検! むかしの くらし

ちよつとむかしの  
くらしをのぞいてみよう。



こおりれいそうこ  
氷冷蔵庫



せんたくき  
洗濯機



ガワーベル電話

2019

11/16(土)

2020

3/8(日)

**開館時間** 11/30まで 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
12月～3月 午前10時～午後4時(入館は午後3時30分まで)

**休館日** 月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、  
年末年始(12/29～1/3) ※10/23、11/24は開館

**観覧料** 幼児および市内の学校に通う小中学生は無料

一般500円(400円)、小中高生250円(200円)

※( )内は20名以上の団体料金

※本料金で常設展もご覧いただけます

上越市立歴史博物館

JOETSU CITY HISTORY MUSEUM

〒943-0835 新潟県上越市本城町7-7

Tel.025-524-3120 Fax.025-522-7205

URL:<https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/>



## 子どもたちへ

みなさんのおじいさん、おばあさんが子どものころ、お父さん、お母さんが子どものころ、そして、みなさんが生まれ育ったころのそれぞれの道具とくらしの様子の移り変わりを紹介します。道具の形や働きなど、どんどん変わっていく様子を探検しよう。

### 校外学習での利用について

展覧会を校外学習でご利用の場合は、事前にご連絡ください。学習内容に合わせたプログラムで対応します。「道具調べカード」として使えるガイドブックを用意します。



▲ガイドブック(平成30年度版)

## 大人の方、保護者の方へ

この展覧会では、電気洗濯機、電気冷蔵庫、白黒テレビが「三種の神器」と呼ばれ、電化製品が出回りはじめた昭和30年代から昭和40年代までを「今の小学生のおじいさんおばあさんが子どものころ」、今から40年前から20年前、電化製品が身近にあり、使うことが当たり前になった昭和後期から平成のころを「お父さん、お母さんが子どものころ」と設定し、子どもたちが生まれ育った現在までのそれぞれの時代の道具を紹介します。

それぞれの時代の道具や電化製品を前に、子どもたちに、初めて使った時の驚きや、使い方、どのように暮らしが変わっていったかを話していただけたらと願います。



ダイヤル式電話

### 関連イベント〈図書館コラボ企画〉

## 紙しばい屋さんがやってくる

あの頃の紙しばい屋さんを模して、自転車の荷台で紙しばいを行います。

- 日時: 11/24㊤、2/23㊤、3/1㊤  
いずれも午後2時～2時30分
- 会場: 歴史博物館1階ラウンジ
- 参加費無料 ■申込不要



岡観容撮影「紙芝居」(昭和20年代)  
写真提供: 上越市総務管理課公文書センター



足ぶみミシン

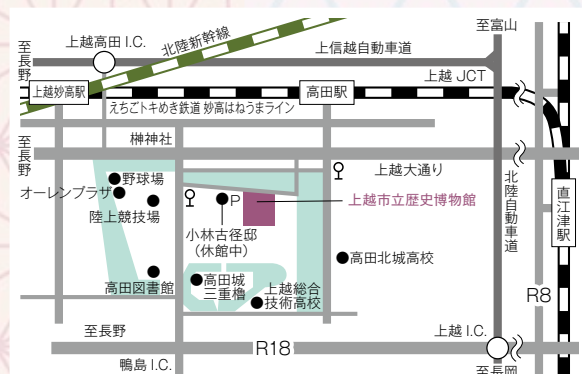
### 交通案内

#### 【公共交通機関でお越しの方】

- ・北陸新幹線上越妙高駅下車「上越妙高駅」から「中央病院行」バスにて「西城1丁目」降車、徒歩5分
- ・えちごトキめき鉄道高田駅下車、徒歩20分

#### 【自家用車でお越しの方】

- ・北陸自動車道から上越IC～国道18号線 鴨島立交差点右折、高田公園内まで約15分
- ・上信越自動車道から上越高田IC～高田公園内まで約15分



# 上越市立歴史博物館

JOETSU CITY HISTORY MUSEUM

〒943-0835 上越市本城町7-7 TEL.025-524-3120 FAX.025-522-7205  
URL: <https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/museum/>